

都立特別支援学校(視覚・聴覚・知的・肢体不自由・病弱)

- ◆特別支援学校の種類 都立特別支援学校には「知的障がい」の他に次の4種類があります。
- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 視覚障がい特別支援学校 | 視機能の永続的低下による学習や生活への支障等に対応する学校 |
| 聴覚障がい特別支援学校 | 聴覚機能の永続的低下と環境との相互作用で生じる問題に対応する学校 |
| 肢体不自由特別支援学校 | 身体の運動器官の損傷による日常生活への支障等に対応する学校 |
| 病弱特別支援学校 | 身体や心の病気のため医療又は生活規制の必要な子どもに対応する学校 |

◆知的障がい特別支援学校の特徴

発達に知的な遅れがある、特定の能力が著しく遅れている等、学習に困り感のある子どもや、人との意思疎通が困難で、食事や排泄の始末など日常生活での支援も必要な児童・生徒が対象です。

- ・障がいによる学習上、生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識や技能を身に付けます。
- ・一人ひとりの障がい特性に応じた教材・教具を使って学習します。できることを確実に増やします。
- ・国語、算数等の教科は基礎・基本の習得がねらいです。自信をつけさせて学習意欲を高めます。
- ・道徳、自立活動、生活単元、行事等は社会生活に即した環境を整えて、体験的に行います。
- ・それぞれの活動はねらいを明確にして、年間計画に沿って進めます。

◆ 日常生活の指導

荷物の整理整頓や更衣・排せつなど、日常生活の諸活動を自分でできるように訓練します。

◆ 自立活動

身辺整理、時間や持ち物の管理、生活環境の調整、他者とのコミュニケーション等、個や集団の課題に合わせて少人数グループで学習します。必要に応じて、個別の指導も行います。



数の学習



小規模で落ち着いた教室環境



言葉やそれに代わるコミュニケーション手段の学習

◆作業学習(中学部)

作業を学習の中心に置き、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立に必要な事柄を学習します。安全に十分な配慮をして、けがや事故を防ぐことの大切さも学びます。

◆交流及び共同学習

近隣の小・中学校の児童・生徒との交流を行っています。

- 例) 運動部活動の交流試合
- ろう学校の手話交流
- 盲学校の点字文や点字図書等の交流



■ 地域とのつながり

都立特別支援学校に在籍する児童・生徒は、乳幼児期に地域の幼稚園や保育園、通園施設等に通い、居住する地域とのつながりをもっています。また、卒業後は、居住する地域での福祉サービスや就労支援等、様々な支援を受けて生活するなど、生涯を通して地域と深くつながっていきます。

学齢期では、居住する地域の小・中学校との交流（副籍制度）や、区の学童クラブなどにより、地域とのつながりをもつことができます。

◆ 副籍制度

副籍を置く学校の学年便りや学校行事等の文書の配布（間接交流）、学校行事や給食等への参加や教科等における共同学習（直接交流）などを行います。

原則として、特別支援学校に在籍する児童・生徒は地域の学区の小中学校に副籍をもちます。

例：地域の学校へ行き、運動会の応援や各種発表会の見学等をします。

※交流内容は、お子さんの実態に合わせて、特別支援学校と副籍を置く学校の十分な協議により計画を立てて実施します。



■ 荒川区在住のお子さんが通学する都立特別支援学校

種別	学校別	学校名	所在地	最寄り駅	電話番号	備考
肢体不自由	小中高	花畑学園	足立区南花畑 5-24-49	つくば エクスプレス線 六町駅	3883-7200	
知的 障がい	小中高	王子特別 支援学校	北区十条台 1-8-41	埼京線十条駅 京浜東北線王子駅	3909-8777	
知的 障がい	小中高	墨田特別 支援学校	墨田区八広 5-10-2	京成線 八広駅	3619-4851	
盲	幼小中	葛飾盲学校	葛飾区堀切 7-31-5	千代田線 綾瀬駅	3604-6435	寄宿舎有
ろう	幼小 中高	葛飾ろう学校	葛飾区西亀有 2-58-1	千代田線 綾瀬駅	3606-0121	
ろう	幼小	大塚ろう学校	豊島区巢鴨 4-20-8	都電荒川線 庚申塚	3918-3347	

※知的障がい特別支援学校は通学区域が定められています。

町名・丁目が「西尾久、東尾久、町屋2～6丁目、荒川5～6丁目、東日暮里5～6丁目、西日暮里1～6丁目」に該当する地区は王子特別支援学校、それ以外は墨田特別支援学校になります。

都立特別支援学校見学会や説明会は各学校で対応が異なります。
ホームページでご確認いただくか、直接お問い合わせください。